



コイに似ることからニゴイの和名がある。市街地の河川にも多い。福井市産 全長:約45cm

コイ科 ニゴイ属

【全長】約60cm

ニゴイ

学名:*Hemibarbus barbuis*

分布域

中部地方以北の本州。山口県と九州に不連続に分布する。

生息域

河川の中流～下流域、湖などに生息する。



幼魚には体側に暗色斑がある。

体形は細長く体高は低い。吻は長く口は下に開く。口髭は1対。体色は幼魚期は透明感のある銀白色で体側に暗色斑が8～10個並ぶ。全長が20cm前後で暗色斑は消える。成魚は褐色～暗褐色で腹面が銀白色。全長50cmを超えると全身がやや黒化する。成魚の鱗は外縁部が暗色で網目模様。食性は雑食性。水生昆虫や底生動物・小魚・藻類などを食べる。産卵期は5～7月。河川中流域の砂礫底に集団で産卵する。

水槽での飼育は幼魚に於いては問題ないが、成魚は臆病で、水槽の環境に比較的慣れにくい。主に底層を生息環境とし底砂上の餌を食べる。沈下性の配合飼料を与えるるとよい。

在来種

純淡水魚

※ 近縁のコウライニゴイが石川県や滋賀県でも確認されている、福井県内では確認されていないが、移入され生息していても不思議ではない。